

第34回スパズム・シンポジウム世話人会議事録

日 時：平成30年3月15日（木）7：00～
会 場：福岡サンパレス 4階 第3会議室
出席者：28名

【報告事項】

1. 第34回会長挨拶

佐々木 達也 先生（青森県立中央病院）より挨拶があった。
今学会の「壇上での総合討論」の形式について、代表世話人伊達 勲（岡山大学）より言及、佐々木先生より経緯の説明があった。

2. 事務局報告（岡山大学 菱川 朋人）

会員状況報告・会計報告があり、承認された。
会員数・会費納入率について大幅な減少等はなく例年通り推移している。
収支についてはここ数年、増加傾向にある。
収入の部においては、「第33回スパズム・シンポジウム(STROKE2017)」より補助金50万円の返還があった。

3. 第33回開催報告

第33回会長 森 健太郎 先生（防衛医科大学校）より開催報告があり、承認された。
第33回も収支決算報告については、脳卒中：脳卒中の外科学会&スパズム・シンポジウムで5：5の割合で予算計上されたことを説明。
開催内容と予算の面、ともに順調に終了したことを報告した。

4. 顧問退任

遠藤 俊郎 先生（富山大学 学長）と、山浦 晶 先生（松戸市立病院 事業管理者）が退任となった。

5. 世話人退任 — 新顧問への就任

加藤 庸子 先生（藤田保健衛生大学）と西澤 茂 先生（産業医科大学）が新顧問として承認された。

6. 次期会長挨拶

第35回会長 石川 達哉 先生（秋田県立脳血管研究センター）より挨拶があった。
2019年3月21日（木）、22日（金）、23日（土）横浜にて開催。
共通テーマは、「進化を遂げた脳卒中医学・医療の今後の展望 —次世代へのメッセー

ジ：We can treat stroke」。スパズム・シンポジウムとしてのサブテーマは「多様なアプローチで臨む脳血管攣縮の克服（エビデンスとニュアンス）」。

7. 次々期会長挨拶

第36回会長 鈴木 秀謙 先生（三重大学）より挨拶があった。
2020年3月26日（木）、27日（金）、28日（土）横浜にて開催。
共通テーマは「脳卒中 力をひとつに Unity in Diversity」。

8. 第9回スパズム・シンポジウム優秀論文賞について

第9回優秀論文賞の選考委員、受賞論文の報告が行われた。
基礎研究部門は、岡 史朗（おか ふみあき）先生（山口大学）、臨床研究部門は、奈良岡 征都（ならおか まさと）先生（弘前大学）に決定したことを報告した。

9. 将来構想委員会 メンバー交替の件

会則第7条に基づき、以下5名が2018年度のメンバーとして賛同を得られ、決定した。

- ・前期会長 : 佐々木 達也先生
- ・今期会長 : 石川 達哉 先生
- ・次期会長 : 鈴木 秀謙 先生
- ・事務局代表 : 伊達 勲
- ・選出メンバー : 大熊 洋揮 先生

【審議事項】

1. 新世話人選出

推薦状・略歴の回覧の後、高木 康志 先生（徳島大学）、吉野 篤緒 先生（日本大学）の2名が新世話人として推薦され、承認された。

2. 次々期会長選考

事務局代表伊達 勲より、第37回会長について事前に将来構想委員会メンバーにて協議した結果、岩渕 聡 先生（東邦大学医療センター大橋病院）を推薦することを報告、本会にて承認された。

3. COI 指針・細則改定について

スパズム・シンポジウム COI 委員会委員長伊達 勲より説明。
日本脳神経外科学会の方針に合わせるようにとの指示に従い、COI 指針・細則の改訂を実施。

他の COI 委員（大須賀 浩二 先生、糟谷 英俊 先生）に確認後、当日の資料として改訂後のスパズム・シンポジウムの COI 指針・細則を配布。以後、指摘が無ければ、正式に改訂版とし、スパズム・シンポジウムホームページへ掲載することで承認を得た。

4. 機関誌発行について

代表世話人伊達 勲より、機関誌「脳血管攣縮」次号（Vol. 34）製作について（原稿依頼、編集作業を行う上で混乱の無いよう）第 34 回会長佐々木 達也 先生を主体に行うことを明示した。

以上